落札率は7.9ポイント低下

福島県の07年度契約 一般入札拡大が影響

福島県は、2007年度発注工事（予定価格250万円以上）の入札結果をまとめた。入札・契約制度の抜本的な改正により、条件付一般競争入札が約7倍に増加する一方、平均落札率は85・1％と、前年度に比べ7・9ポイント低下した。最低制限価格制度を導入しているため、極端な低価格入札は排除されているものの、平均落札率が10ポイント以上落ち込んだ工種もあった。

同県では、06年に県発注工事をめぐる官製談合の疑惑が生じたことなどを受けて、入札・契約制度を大幅に改正した。具体的には07年4月から一般競争入札を予定価格3000万円以上の工事に拡大、さらに同10月からは250万円以上のすべての工事に適用した。

07年度の総件数は2610件で、平均落札率は85・1％となり、前年度の93・0％から7・9ポイント低下した。

このうち、条件付一般競争入札の対象は前年度の215件から1417件に増加。平均落札率は82・3％で、7・2ポイント落ち込んだ。

一方、指名競争入札は2755件から1036件と、3分の1程度まで減少。平均落札率は87・7％で、5・6ポイント下回った。

部局別でみると、土木部は1874件で平均落札率84・9％、農林水産部は549件で同85・1％、教育庁は71件で同86・4％、警察本部は50件で83・3％などとなっている。平均落札率は一部の部局を除き、軒並み前年度の9割台から8割台に低下。多数を占める土木、農林水産両部はともに前年度を約8ポイント下回った。

工種別の平均落札率は、法面処理（150件）が79・8％で最も低く、前年度から12・6ポイントも落ち込んだ。次いで、塗装（61件）と造園（8件）が81・1％、舗装（344件）81・9％、プレストレスト・コンクリート橋上部（30件）83・1％などと続く。

発注件数が最も多い一般土木（1549件）は85・7％で、7・8ポイント低下した。

発注金額別では、「15億円以上24億1000万円未満」（1件）が77・4％で最も低く、「5億円以上15億円未満」（5件）77・0％、「3億円以上5億円未満」（16件）81・2％、「2億円以上3億円未満」（20件）83・9％などとなり、金額が小さいほど落札率が高まる傾向にある。

同県では、落札率の低下などを踏まえ、ことし1月から最低制限価格を6％程度引き上げた。

また、小規模工事で応札者がなかったケースもあったことから、4月から土木部と農林水産部が発注する予定価格1000万円未満の工事のうち、300件程度を抽出して指名競争入札を試行している。

20年 5月 2日
建設通信新聞